

2019年2月13日

## ダイナミックマップ基盤株式会社への追加出資について

- ・高精度3次元道路地図データを生成するダイナミックマップ基盤株式会社（DMP）のグローバル展開支援のために180億円を上限とする出資を決定
- ・DMPは米国の同業 Ushr Inc.買収を通じて自動運転用道路地図の市場における地位を強化
- ・自動運転・先進運転支援システムに加え、社会インフラ管理・i-Construction\*にも展開

株式会社INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又 幹英、以下「INCJ」）は、このたび、高精度3次元道路地図（以下「HD\*\*マップ」）の提供を行うダイナミックマップ基盤株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：中島 務、以下「DMP」）の新たな事業展開を行うための成長資金として、180億円を上限とする出資を行うことを決定しました。今回の追加出資はDMPによる米国 Ushr Inc.（アッシャー）の買収費用に加えDMPの北米展開に向けた成長資金に充てられます。また、今回のラウンドでは、既存株主である三菱電機株式会社と、新規株主であるジャパン・インフラストラクチャー・イニシアティブ株式会社と共同で出資を行います。

Ushrは、自動運転用のHDマップの開発・販売を行う会社で、米国においてDMPと同水準のHDマップデータを保有し、世界で初めて量産車両（GM車）への採用・実用化を行うなど、その技術力と製品は高く評価されています。DMPとUshrの両社はグローバル市場での展開において互いを最適なパートナーであると判断しており、今回の買収合意は、急速な成長が見込まれる北米地域での自動運転車の普及を力強く支援することになります。両社は、株主間で株式譲渡契約を締結しており、所定の手続きを終えた後、速やかにクロージングする予定です。

DMPは、自動運転・先進運転支援システムの実現に必要なHDマップの協調領域における整備や実証・運営に向けて2016年6月に設立され、現在は国内高速道路や自動車専用道路のHDマップデータの整備に取り組んでいます。

また、HDマップの導入は、交通事故やそれに伴う死傷者数の減少、交通制約者の移動支援、渋滞緩和による環境負荷の軽減などを目指す自動運転・先進運転支援システムの高度化に貢献するとともに、防災・減災、社会インフラの維持管理、建設生産システム全体の生産性向上を目指すi-Constructionなど、幅広い分野への展開が検討されています。

\* i-Construction (アイ・コンストラクション) :

国交省が掲げる 20 個の生産性革命プロジェクトのうちの一つで、測量から設計、施工、検査、維持管理に至る全ての事業プロセスで ICT を導入することにより建設生産システム全体の生産性向上を目指す取組みです。

\*\*HD : High Definition

(参考) これまでの支援決定内容

2017 年 6 月 「ダイナミックマップ基盤企画株式会社への出資について」

支援決定金額 : 13.4 億円 (上限)

<https://www.incj.co.jp/news/upload/docs/1497324807.01.pdf>

### ダイナミックマップ基盤株式会社について

設 立 : 2016 年 6 月 (2017 年 6 月に事業会社に移行)

本 社 : 東京都港区

代表者 : 中島 務

事業内容 : 高精度 3 次元道路地図データの研究・開発・実証  
高精度 3 次元道路地図データの提供

### Ushr Inc.について

設 立 : 2016 年 12 月

本 社 : 米国、ミシガン州

代表者 : Bruce Gordon (ブルース・ゴードン) CEO, Director

事業内容 : 自動運転用高精度 3 次元道路地図の開発、販売

### 三菱電機株式会社について

設 立 : 1921 年 1 月

本 社 : 東京都千代田区

代表者 : 執行役社長 杉山 武史

事業内容 : 重電システム、産業メカトロニクス、情報通信システム、電子デバイス、家庭電器などの  
開発・製造・販売

### ジャパン・インフラストラクチャー・イニシアティブ株式会社について

設 立 : 2017 年 1 月

本 社 : 東京都千代田区

代表者 : 代表取締役社長 西田 直樹

事業内容 : 海外インフラ事業への投融資

## **株式会社 INCJ について**

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。 URL : <http://www.incj.co.jp/>

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井  
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 2 1 階  
電 話 : 03-5218-7202

投資対象: ダイナミックマップ基盤株式会社

事業内容: 自動走行の実現に向けた高精度3次元地図データの整備・提供

支援決定金額: 13.4億円(上限) / 180億円(上限)

支援決定公表日: 2017年6月13日 / 2019年2月13日



\* いすゞ自動車、スズキ、SUBARU、ダイハツ工業、トヨタ自動車、日産自動車、日野自動車、本田技研工業、マツダ、三菱自動車

- 自動走行に必要な3次元高精度地図において基盤となる「協調領域」のデータを整備
- 3次元高精度地図をカメラ・センサー及びGPSといったデバイスと組み合わせることで自動運転の高度な制御を実現
- 自動運転の実現により、交通事故減少、交通制約者の移動支援、渋滞緩和による環境負荷低減等の社会課題の解決に貢献